

平成25年9月第5回松阪市議会定例会

請願文書表

受理番号	請願第8号
受理年月日	平成25年9月27日
件名	市民の暮らしを守るため、消費税増税中止、原発再稼働反対、憲法9条守れ、TPP（環太平洋連携協定）脱退を求める意見書を提出する請願
請願者の住所及び氏名	松阪市大口町438番地1 松阪民主商工会 会長 竹田 哲彦  松阪市宮町282番地7 全国人権総連合会松阪地区協議会 書記長 橋本 進  松阪市久保町851番地1 新日本婦人の会松阪支部 会長 竹田 房子
請願要旨	別紙のとおり
紹介議員	海住 恒幸 久松 倫生

市民の暮らしを守るため、消費税増税中止、原発再稼働反対、憲法9条  
守れ、TPP（環太平洋連携協定）脱退を求める意見書を提出する請願

2013年9月27日

松阪市議会

議長 中島 清晴 様

松阪市大口町438-1 松阪民主商工会 会長 竹田哲彦

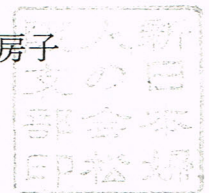
松阪市宮町282-7 全国人権総連合会松阪地区協議会 書記長 橋本進

松阪市久保町851-1 新日本婦人の会松阪支部 会長 竹田房子

《紹介議員》

久松倫生

《請願趣旨》海住恒幸



安倍政権は、参議院選挙で過半数を獲得しましたが、私たち市民は消費税増税や原発再稼働、憲法9条改悪、TPP推進に白紙委任を与えたものではありません。

選挙後の各種世論調査でも、多くの国民や市民が反対と中止を求めています。消費税増税は、くらしを破壊し景気回復はおろか財政再建もできません。財源確保は、主に大企業の内部留保からの拠出や富裕層への適正な課税により行うべきです。

原発再稼働は、原発燃料の使用後の処理問題や汚染水の問題などの対策や震災復興もできないのに再稼働なんてとんでもないことです。

憲法9条改悪は、都合のいいように解釈し改悪することで、日本が戦争のできる国にすること、こんなことは許せません。

TPP（環太平洋連携協定）推進は、日本の主権と食の安全を米国に売り渡す「売国的」な行為であり許せません。

以上これらの問題は、くらしと日本の主権を根底から破壊することばかりです。よって、松阪市議会におかれましては、この趣旨を受け止めていただき、国や関係機関に次の意見書をだしていただくよう請願します。

《請願項目》

市民の暮らしを守るため、消費税増税中止、原発再稼働反対、憲法9条守れ、TPP（環太平洋連携協定）脱退を求める意見書を国に提出すること。